

みずほCustomer Desk Report 2024/02/21 号 (As of 2024/02/20)

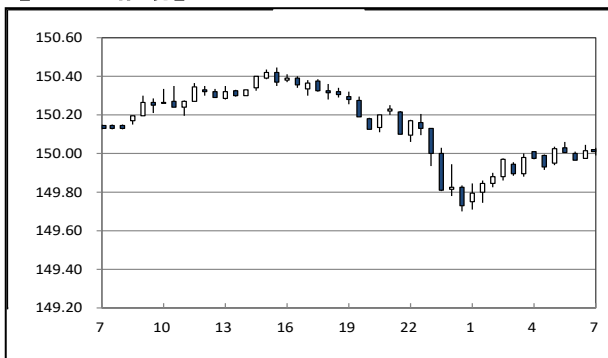
金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	150.38
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	150.27	1.0774	161.93	1.2590	0.6531
SYD-NY High	150.44	1.0839	162.36	1.2668	0.6579
SYD-NY Low	149.70	1.0762	161.77	1.2580	0.6522
NY 5:00 PM	150.00	1.0809	162.14	1.2620	0.6549
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	38,563.80	▲ 64.19	日本2年債	0.1500%	0.0100%
NASDAQ	15,630.78	▲ 144.87	日本10年債	0.7300%	0.0000%
S&P	4,975.51	▲ 30.06	米国2年債	4.6133%	▲0.0273%
日経平均	38,363.61	▲ 106.77	米国5年債	4.2526%	▲0.0212%
TOPIX	2,632.30	▲ 7.39	米国10年債	4.2743%	▲0.0058%
シカゴ日経先物	38,305.00	▲ 10.00	独10年債	2.3690%	▲0.0405%
ロンドンFT	7,719.21	▲ 9.29	英10年債	4.0385%	▲0.0675%
DAX	17,068.43	▲ 23.83	豪10年債	4.1990%	▲0.0020%
ハンセン指数	16,247.51	91.90	USDJPY 1M Vol	7.71%	0.60%
上海総合	2,922.73	12.19	USDJPY 3M Vol	8.32%	▲0.34%
NY金	2,039.80	15.70	USDJPY 6M Vol	8.72%	▲0.21%
WTI	77.04	▲ 1.42	USDJPY 1M 25RR	▲1.06%	Yen Call Over
CRB指数	270.76	▲ 1.83	EURJPY 3M Vol	7.88%	▲0.30%
ドルインデックス	104.08	▲ 0.21	EURJPY 6M Vol	8.45%	▲0.19%

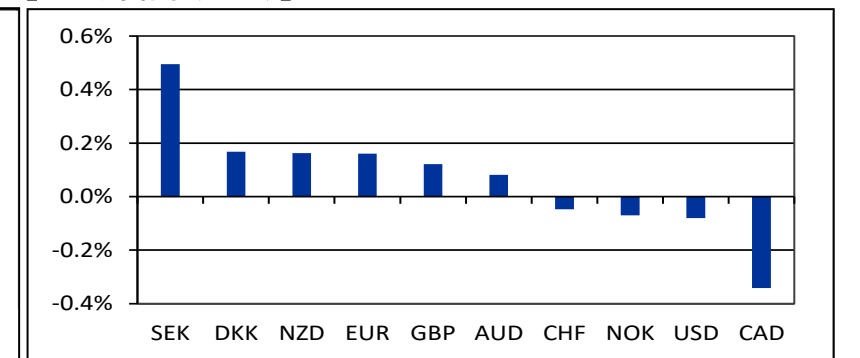
東京	東京時間のドル円は150.27レベルでオープン。特段、目立った材料はなかったものの、1日を通して見ると、ドル高円安基調で推移。午後には150.44まで上昇する場面が見られ、150.37レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、150.37レベルでオープン。特段の材料がない中で小幅推移。米10年債利回りの下落を背景にじり下げて推移し、結局150.16レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は150円台前半でスタート。日経平均株価が史上最高値に迫った事を受け、一時円売りの流れから150.44まで上昇。しかし、その後日本株が反落した事や、米金利が低下する動きを背景に伸び悩み、反落し150.16レベルでNYオープン。本日は注目の米経済指標の結果発表が無い中、午前中は米金利が低下幅を拡大する動きに追随し、149.70まで続落。午後は下げ渋り、徐々に150円丁度付近まで戻す。その後は小動きとなり、150.00レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.07台後半でスタート。米金利の低下がサポートとなり、ユーロドルは底堅い推移が続き、1.0809まで上昇。その後、ユーロ圏2023年度第4四半期の妥結賞金が前回より低下した結果が上値を抑え、その後1.0798レベルでNYオープン。午前中は米金利が一段と低下する展開を背景に、1.0839まで値を上げる。その後は買い一巡となり、1.0820付近まで反落。午後は1.0810付近をほぼ横ばいで推移し、1.0809レベルでクロス。

【昨日の指標等】							
Date		Time		Event		結果	予想
【本日の予定】							
Date		Time		Event		予想	前回
2月21日	08:50	日		貿易収支	1月	-¥1855.4b	¥68.9b
	22:00	米	ボスティック・アトランタ連銀総裁	講演	-	-	-
	23:10	米	バーキン・リッチモンド連銀総裁	講演	-	-	-
2月22日	00:00	欧		消費者信頼感・速報	2月	-15.5	-16.1
	4:00	米		FOMC議事要旨	1月	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	149.50-150.40	1.0770-1.0850	161.60-162.60

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外時間のドル/円は小幅に下落する展開となった。中国が住宅ローン基準金利を引き下げたことを受け、中国経済の先行き不安が意識されて、米国債利回りに低下圧力がかかった。米10年債利回りは4.31%台から4.24%台に低下、また、発表された米1月景気先行指数の予想下振れもドルの重しとなって、ドル/円は149.70円まで下押しする展開に。その後150円台に戻したものの上値重い推移となっている。本日のドル/円は引き続き150円丁度を挟んだレンジ相場を予想。FRBの利下げ開始が遅れるとの見方に加えて、日銀はマイナス金利解除後も緩和的な金融政策を維持する可能性が高いことから、海外時間にドル/円は弱含んだものの一方的な円高方向には進みづらいかと思われる。一方、本日は米国時間に1月のFOMC議事要旨の公表を控えていることから、次第に様子見ムードが強まることも予想され、ドル/円は底堅くも動きづらく、明確な方向感が出にくいと思われる。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松木・大熊